

史料群名	柏谷家文書		旧所蔵者	柏谷茂三郎
探訪時住所	山口県大津郡日置村黄波戸			
現在の住所	山口県長門市日置黄波戸			
探訪年月	昭和27（1952）年8月			
史料の年代	明治4（1872）年～明治40（1908）年	史料の 総点数	53点	
年代の内訳	近代 49点/不明 4点	筆写稿本	なし	
既刊行目録	なし			

収蔵にいたる経緯

探訪書類に寄贈と記されている。

史料群の概要

探訪地の日置（へき）村は大村であったため、近世では初め2村に、後に3村に分村したようである。明治22年には5ヶ村が合併して日置村となり、昭和53年に日置町、平成17年に長門市となった。日置村のなかでも黄波戸（きわど）浦は近世以来捕鯨基地として有名である。本史料群も、明治期の捕鯨業に関する横帳が大半を占め、明治9年「鯨金取縮帳」は黄波戸浦鯨方会社の作成になっている。捕鯨法は網取法で、明治11年の座頭鯨捕獲の史料が残されている。鰯漁の浜帳などもある。

